

広島市立大学産学連携発表会 2024



30th Anniversary

～デジタル技術×ひととまちが織りなす広島の未来～

《日 時》：2024年9月20日（金）13：00～16：30

《会 場》：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）
（広島市中区袋町6番36号）

プログラム

13：00～13：05 主催者挨拶
広島市立大学 理事長・学長 若林 真一

第一部 講演会

基調講演 13：05～14：05

「『匠のまち』の実現に向けて～広島市におけるDX推進～」

広島市 企画総務局 行政経営部 情報政策担当部長 八木 孝裕 氏

内容：様々な分野で情報をうまく使いこなし、新たな価値を創造していく『匠（TAKUMI）のまち』の実現を基本理念とする「広島市デジタル・トランスフォーメーション（DX）推進計画」を策定し、取組を進めています。このDX推進の取組と産学官の連携についてお話しします。



《 休憩 5分 》

研究者講演 14：10～14：50

「共同研究が導く成長について」

広島市立大学大学院 情報科学研究科 教授 石光 俊介



「人間が抱くような印象を理解できる情報システムへ」

広島市立大学大学院 情報科学研究科 助教 カストナー・マーク・アウレル

《 第二部会場へ移動 5分 》

第二部 マッチングセッション・交流会 14：55～16：30

- ・各学部、研究科の展示（研究紹介）
- ・大学発ベンチャー企業の展示（事業紹介）
- ・産学連携関係団体の展示（事業紹介）



主 催：公立大学法人広島市立大学、広島市

後 援：中国経済産業局、中国総合通信局、広島県、一般社団法人中国経済連合会
公益財団法人中国地域創造研究センター、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会
公益財団法人ひろしま産業振興機構、広島商工会議所、一般社団法人広島県発明協会
一般社団法人広島県情報産業協会、公益財団法人広島市産業振興センター

—— マッチングセッション・交流会 ——

情報科学研究科

研究者講演

No.	テーマ	概要	研究者
1	AI 耳標センサシステム	Society5.0 の実用の 1 つとして、家畜の耳標から体内伝導音による生体情報をクラウド AI に入力し、呼吸器病の早期発見システムを構築している。農家はそれらの存在を意識させず、結果のみ携帯などを通じて早期に通知される。 【連携先】 デバイス開発企業(メモリーテック)、公的研究期間(佐賀畜産試験場、農研機構)	情報科学研究科システム工学専攻 (代表) 教授 石光 俊介 特任教授 湯本 誠司 助教 カストナー・マーク ・アウレル
2	車内環境のウェルビーイングサウンドデザイン	自動車騒音規制がフェーズ 3 となり、自動運転、EV 化が進む中、車内環境のサウンドデザインもよりウェルビーイングが求められている。企業との取り組みについて紹介する。 【連携先】 自動車企業 (マツダ、スズキ)、材料メーカ (東洋紡)	情報科学研究科システム工学専攻 教授 石光 俊介
3	聴感印象の視覚化とサウンドデザイン	聴感印象について、「なめらか」「明瞭度がある」など言葉で表現することが多いが、印象を視覚化すると、新たな評価に繋がる可能性がある。その取り組みについて紹介する。 【連携先】 自動車・機器関連企業	情報科学研究科システム工学専攻 (代表) 教授 石光 俊介 助教 カストナー・マーク ・アウレル
4	人間が抱くような印象を理解できる情報システムへ	人間と情報システムとの相互作用には、人間の感情や印象まで理解するべきです。人間工学は心理学等を考慮した学際的なアプローチが必要です。そのため、私の研究では、心理言語学の理論を導入し、人間が抱くような印象を理解できる情報システムを目指しています。単語のイメージしやすさから存在しない単語の印象まで、本発表では心理学言語学手法を応用したアイデアを提案します。 【連携先】 公的研究機関等	情報科学研究科システム工学専攻 助教 カストナー・マーク ・アウレル

情報工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
5	在宅医療を支援するための振動センサーを用いた呼吸状態解析技術	本展示では、安価で使い捨て可能な簡易振動センサーを用いることで、在宅で医療を受ける患者の呼吸異常を早期に検出し、アラートを発する技術に関する研究を紹介します。この研究では、呼吸による体の動きから異常を検出することで、従来のパルスオキシメーターが測定する血中酸素濃度よりも早期に呼吸異常を発見することが可能になります。	コンピューティング講座 (代表) 教授 弘中 哲夫 助教 窪田 昌史
6	量子コンピュータを用いた古典アルゴリズムの高速化	問題に対する最適解を見つけるために、大量の情報を選別する必要があるアルゴリズムが多数あります。この検索がツリーまたはグラフ上で行われる場合、量子アルゴリズムにより、解の発見が、場合によっては指数関数的に高速化されます。この研究では、グラフの構造を持つ問題を研究し、システムの統一されたフレームワーク内で開発できる量子アルゴリズムを指します。これにより、いわゆる古典的問題の量子化が容易になります。	コンピューティング講座 准教授 ルカック・マーティン

7	AI による LSI 製造品質の向上に関する研究	LSI の高集積化・微細化に伴い、製造時の品質管理が益々困難になっている。製造後に不具合を起こしそうな箇所を、設計時に AI を用いて検出することで品質向上を図る研究を紹介する。 【連携先】 製造業	コンピューティング講座 (代表) 講師 稲木 雅人 教授 永山 忍
8	安心・安全な生活に役立つ自然界に学んだ無線 LAN 技術～同期現象の仕組みを使って超混雑状態でも快適にネットに繋がる WiFi を目指す～	本展示では、自然界で起きている同期現象（ホタルの点滅同期やメトロノームの周期同期など）を参考にした超混雑でもアクセス可能な無線 LAN 技術の研究を紹介します。	コミュニケーション講座 (代表) 准教授 小畑 博靖 教授 高野 知佐 教授 石田 賢治
9	安心・安全な生活に役立つ自然界に学んだ無線 LAN 技術～物質粒子が移動しつつ拡散する現象を応用して高速な WiFi 接続先を予測する～	自然界の現象は物理学的な考えで説明できる場合があります。特に物質の「流れ」と「拡散」を表現する移流拡散現象もその一つです。本展示では、移流拡散方程式をベースにした高速な WiFi 接続先を予測する技術について紹介します。	コミュニケーション講座 (代表) 准教授 小畑 博靖 教授 高野 知佐 教授 石田 賢治
10	ホログラフィーによる3D 原子イメージング～放射光を利用した材料分析・開発～	ホログラフィーとは、3次元（3D）物体像を記録・再生する技法で、身近には、紙幣などの偽造防止に使われています。この技法をナノメートルの世界に应用すると、原子の並びを3D 再生させることができます。この技術を用いて、多くの他大学、研究機関、企業様と共同研究を実施しています。	センシング講座 准教授 八方 直久
11	電波を利用した IoT モニタリングの研究	本展示では、モニタリングネットワーク研究グループで取り組んでいる。電波や無線の特徴を利用した災害センシングや電波伝搬特性の測定技術に関する研究開発を紹介しします。 【連携先】 情報関連企業、地方自治体、公的研究機関	センシング講座 (代表) 講師 新 浩一 教授 西 正博 講師 小林 真

知能工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
12	IoT 時代のデータ活用～深層学習を用いた時系列データ分類～	未分類の時系列データを高精度に分類する手法が求められています。 本展示では、センサデータを対象とした時系列データ分類手法とその応用について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 (代表) 教授 田村 慶一 東谷 有真 (院生) 宮本 颯矢 (院生)
13	プライバシー保護とデータ活用の両立を目指して～モデル蒸留に基づく連合学習～	個人が持つデータを集めることなく機械学習を行う連合学習が注目されています。 本展示では、データとモデルそのものも秘匿できるモデル蒸留に基づく連合学習とその応用について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 (代表) 教授 田村 慶一 阿比留 祥太 (院生) 宮本 颯矢 (院生)
14	AI を悪意のある攻撃から守れ～敵対的攻撃の検出手法に関する研究～	データに悪意のある細工を施して深層学習のモデルを騙す敵対的攻撃が問題になっています。 本展示では、音声データや時系列データに対する敵対的攻撃とそれらを検出する手法について紹介します。 【連携先】 情報関連企業、公的研究機関、地方自治体など	データ科学講座 教授 田村 慶一

15	XR 技術を活用した教科学習・訓練支援手法に関する研究	<p>バーチャルリアリティや拡張現実感、複合現実など XR と呼ばれる技術を活用した、教育分野での学習やスポーツ・音楽演奏などの訓練を支援する手法と可能性について紹介します。</p> <p>【連携先】 情報関連企業、地方自治体、公的研究機関</p>	<p>人間情報学講座 (代表) 講師 岡本 勝 教授 松原 行宏 准教授 毛利 考佑</p>
----	------------------------------------	--	--

システム工学専攻

No.	テーマ	概要	研究者
16	車いすの運転支援時における人間・システムの行動意図の共有方法	<p>パーソナルモビリティの安全性を高めるためには、運転支援の技術の導入が有望です。運転システムが利用者の意図と一致して支援を行う方法として、システムの理解・予測状況をユーザに提示する方法を提案します。</p> <p>【連携先】 ロボット関連企業、介護福祉関連企業</p>	<p>人間・ロボット共生講座 (代表) 准教授 池田 徹志 保本 隆之介 (院生)</p>
17	協調運転時に利用者が支援強度を変更可能な車いすロボットの評価	<p>システムが運転支援を行う協調運転時に、利用者が運転しやすい支援方法の確立を目指しています。本研究では、システムによる支援の強度を状況に応じて利用者が変更できる運転方式の評価を行います。</p> <p>【連携先】 ロボット関連企業、介護福祉関連企業</p>	<p>人間・ロボット共生講座 (代表) 准教授 池田 徹志 古屋 来季 (院生)</p>
18	移動領域の投影により複数の歩行者を誘導する移動ロボット	<p>配達や案内を行うサービスロボットが日常環境で人と共存する際には、周囲の人が歩きやすいように振る舞うことが求められます。プロジェクトによる投影を用いて自分の将来の経路を示し、すれ違って移動する歩行者を誘導する方法を提案します。</p> <p>【連携先】 サービスロボット関連企業</p>	<p>人間・ロボット共生講座 (代表) 准教授 池田 徹志 岸 翼 (院生)</p>
19	車体重心の変動に対応可能な軽トラック運転支援システム	<p>道路整備が遅れている中山間地域で暮らす高齢者にとって軽トラックの運転に多くの負担が生じています。特に傾斜地では積載物の重量変化に対する車体姿勢維持は平地以上に困難となり、高齢者の適応限界を既に超えています。そこで我々は車体重心変動に適応しつつ運転者自身の運転スタイルを維持できる運転支援システムの開発状況について報告します。</p> <p>【連携先】 自動車関連企業、機械系関連企業、電気系関連企業、情報系関連企業</p>	<p>人間・ロボット共生講座 (代表) 助教 齊藤 充行 インターフェースデザイン講座 助教 高橋 雄三 数理システムデザイン講座 助教 小作 敏晴 助教 辻 勝弘</p>

20	環境外乱にロバストな予測車両走行モデルのリアルタイムモデリング法	<p>安全・安心な自動運転を実現するためには、道路形状や走行状況の変動に応じて生成される目標軌道に精度良く追従できる制御入力(車両の速度とハンドル舵角)をリアルタイムかつ高精度に求める必要があります。本展示では、走行中にそのような制御入力を求めるための車両走行モデルを適応的に同定する方法を紹介いたします。</p> <p>【連携先】 自動車関連企業、機械系関連企業、電気系関連企業、情報系関連企業</p>	<p>人間・ロボット共生講座 助教 齊藤 充行</p>
21	都市環境の分散型電源に適応した小型垂直軸風車の開発	<p>災害時の電源確保や脱炭素社会の実現に向けた対策として分散型電源が注目されています。小型垂直軸風車は、騒音や景観などへの配慮が必要な都市部での分散設置に適した発電装置の1つです。本会では高効率化を目的としてブレードの電動式ピッチ角制御機構を導入した「垂直軸可変ピッチ風車」の開発状況について報告します。</p> <p>【連携先】 機械系関連企業、電気系関連企業など</p>	<p>数理システムデザイン講座 助教 小作 敏晴</p>
22	回路シミュレーション用デバイスモデルの開発	<p>LSI 設計における回路シミュレーションの役割はますます重要になってきており、そのシミュレーション精度はデバイスモデルとそれに用いられるパラメータに強く依存しています。ここでは、主に高耐圧用 MOSFET の回路シミュレーション用デバイスモデル (サブサーキットモデル) の開発、および、それに伴うモデルパラメータの抽出・測定技術に関する研究について紹介いたします。</p> <p>【連携先】 半導体関連企業、電気・電子関連企業、自動車関連企業、公的研究機関など</p>	<p>数理システムデザイン講座 助教 辻 勝弘</p>
23	韓国語を対象とした音声分解技術	<p>音素や音声記号を単位としたブライント音源分離を実現し、ブライント音声処理の実現のための研究を行っている。本研究では対象を韓国語単音節とした結果について報告する。</p> <p>【連携先】 音声コミュニケーション関連企業、教育関連企業</p>	<p>インターフェースデザイン講座 (代表) 准教授 中山 仁史 大島 風雅 (院生) 梨和 美佑 (院生)</p>
24	顎顔面形状と咬合状態の音響特徴分析	<p>口腔は顎形状や歯列などの形態的な状態と発声や咀嚼といった機能的な状態で評価を行う必要がある。本研究では顎顔面形状と咬合状態を形態と機能の両面での関係性を明らかにするための音響的分析を行っている。本研究ではこれらの目的を明らかにする研究成果についての報告を行う。</p> <p>【連携先】 日本大学松戸歯学部、医療機器関係企業</p>	<p>インターフェースデザイン講座 (代表) 准教授 中山 仁史 藤村 秀弥 (院生)</p>

25	エクスペリエンス・デザイン における“無意識の行動変容” の作り込み	<p>ヒトと機械・環境との間のインタラクションの円滑化において明示的な情報（指示や説明）の提示機会を減らし、非明示的な情報（印象・メンタルモデルなど）の提示によって獲得済みスキルに基づく無意識の行動の誘発を目指したインタフェースのデザインが重要です。そこで本報告では無意識の行動変容を定量的に把握する手法について概説します。</p> <p>【連携先】 情報関連企業、地方自治体、医療・福祉関連企業</p>	<p>インタフェースデザイン講座 助教 高橋 雄三</p>
----	---	---	-----------------------------------

医用情報科学専攻

No	テーマ	概要	研究者
26	MEMS 技術とその医用応用	<p>マイクロ・ナノメートルのサイズで機能する MEMS 技術とその医用応用に関する研究開発を紹介します。</p> <p>(1) 肺内部での呼気吸気計測を可能とする生体情報極限計測技術の開発</p> <p>(2) マイクロニードルを応用した次世代経皮吸収剤技術の開発</p> <p>(3) MEMS 技術を用いたウェアラブル、フレキシブルセンサシステムの開発</p>	<p>医用情報科学講座 (代表) 教授 式田 光宏 准教授 長谷川 義大 講師 アル・ファリシィ ムハンマド・サルマン</p>
27	病気の診断に用いるアミノ酸計測用小型装置の開発	<p>臨床医療や予防医療の分野において、血液中のアミノ酸濃度の分析を行うことはがんや糖尿病、肝臓病などの疾患の早期発見に極めて有効であることが知られています。</p> <p>本研究では、臨床計測や食品の品質管理・分析への応用をめざした 20 種類のアミノ酸濃度を簡便に計測可能なバイオセンサー型の小型装置の開発を行っています。将来的には一つの小型装置あるいは分析キットで複数の病態の診断が可能となり、また病気の早期発見や病態異常への早期対処が出来るため、患者のみならず健常な人の医療や食に対する安心・安全を向上させることができます。</p> <p>【連携先】 医療機器開発・農林水産業・畜産業・食品工業など</p>	<p>医用情報科学講座 准教授 釘宮 章光</p>

大学発ベンチャー認定企業

No	テーマ	概要	企業名
28	各種 VR 機器の製造販売	<p>ユーザの進行方向に大腿部を支持し、歩行動作に応じて映像を変化させることによって VR 空間内の歩行移動を錯覚させる歩行感覚呈示装置や、支柱の代わりに球面体を用い、転がり運動によって少ない力で大きな揺動を実現可能なモーションプラットフォーム等、これまでにない新しいタイプの各種 VR 機器を提供しています。</p> <p>【連携先】 各種関連企業、医療機関、地方自治体、公的研究機関等</p>	<p>株式会社 Movere 代表取締役 脇田 航 ※代表者は、情報科学研究科 システム工学専攻 准教授</p>

市大生チャレンジ事業

No	テーマ	概要	事業者
29	地域のデジタルインフラを目指す、コミュニケーションアプリ CocBan(コクバン)	「CocBan (コクバン)」は、地域コミュニケーションを円滑にするアプリです。誰もが簡単に利用できる直感的なインターフェイスを備え、地域住民同士の情報交換や助け合いを促進します。今後の展望として、地域経済などの活性化なども支援し、デジタルインフラとしての役割を果たします。 (市大生チャレンジ採択事業)	情報科学研究科院生 (代表) 山崎 陽介 梅田 創 山根 愛実 (アドバイザー) 情報科学研究科システム工学専攻 教授 弘中 哲夫

地域共創センター

No	テーマ	概要
30	地域共創センターの活動紹介	広島市立大学地域共創センターの業務、教員や学生が行う地域連携や社会連携の活動を紹介します。

—— 後援団体ポスター展示 ——

No.	団体名	概要
31	中国地域創造研究センターの事業紹介	中国創研は、中国地域における地域振興および産業活性化に関する課題解決方策の提案や支援等を行うことを通じて、中国地域の活力向上と持続的発展に寄与します。 【事業内容】 ・当センター概要 ・新産業創出研究会 ・質感色感研究会
32	INPIT 広島県知財総合支援窓口(一般社団法人広島県発明協会)	INPIT 広島県知財総合支援窓口は、中小企業等が抱える様々な経営課題について、自社のアイデア、技術、ブランド、デザイン等の「知的財産」の側面から解決を図る支援窓口です。ご利用は無料です。 【事業内容】 ・知的財産に関する相談窓口
33	広島県情報産業協会の事業紹介	「ひろしまIT総合展2024」のポスター掲示及びチラシの設置 【事業内容】 ・IT関連の技術・サービスの展示 ・講演会の開催
34	広島市産業振興センターの事業紹介	当財団は、広島市が中小企業の技術力向上のために設置した「広島市工業技術センター」を指定管理者として運営しております。 展示では、広島市工業技術センターに設置してある試験機器や技術力向上のための事業についてご案内します。 【事業内容】 ・技術指導・相談(無料) ・工業技術支援アドバイザー派遣(無料) ・依頼試験(有料) ・設備利用(有料) ・講習会の開催 ・研究会の開催

【本学所有の特許・商標一覧】 (2024. 8. 1 現在)

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称	単独・共願
1	2012.5.11	第 4985098 号	特願 2007-138382	運転訓練システム	単独
2	2013.1.11	第 5548980 号	商願 2012-37104	Hiroshima City University	単独
3	2013.8.2	第 5327735 号	特願 2007-271204	信号再生装置	共願
4	2013.9.6	第 5354485 号	特願 2007-340381	発声支援方法	単独
5	2013.10.25	第 5625331 号	商願 2013-040684	3つのひかり 未来をつくる	単独
6	2014.11.28	第 5721925 号	商願 2014-013959	みみスイッチ	単独
7	2015.11.27	第 5842266 号	特願 2011-281996	映像配信プラットフォームおよび映像配信方法	共願
8	2016.7.15	第 5967758 号	特願 2012-150807	荷重測定装置	単独
9	2016.10.7	第 6014931 号	特願 2012-195770	視線計測方法	単独
10	2017.1.6	第 6066292 号	特願 2013-005338	多機能情報端末及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法	単独
11	2017.4.25	第 9633439 号 (米国特許)	14/418663	画像処理システムおよび画像処理方法	共願
12	2017.8.25	第 6195245 号	特願 2013-260280	モバイルアドホックネットワークアーキテクチャー及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法	単独
13	2018.3.2	第 6297611 号	特願 2016-031648	転倒検知装置及び転倒判定方法	共願
14	2018.4.20	第 6325234 号	特願 2013-231642	減速タイミング通知装置	単独
15	2018.8.3	第 6376680 号	特願 2014-029848	通信システム及び通信方法	単独
16	2019.2.8	第 6473872 号	特願 2015-152945	映像構築装置、疑似視覚体験システム、および映像構築プログラム	共願
17	2019.8.16	第 6570224 号	特願 2014-162391	自動車の外界認知性計測システム	共願
18	2020.2.5	第 6655247 号	特願 2016-38570	情報処理装置	単独
19	2020.10.23	第 6782940 号	特願 2016-167180	舌位・舌癖判定装置、舌位・舌癖判定方法及びプログラム	共願
20	2020.10.23	第 6782946 号	特願 2017-160560	音質制御システム、音質制御方法及び動力機械	共願
21	2020.11.4	第 6788303 号	特願 2019-535697	モーションベース	単独
22	2020.11.16	第 6795190 号	特願 2017-038857	歩行感覚呈示装置及び呈示方法	単独
23	2021.3.9	第 10942187 号 (米国特許)	16/145509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
24	2021.3.22	第 6856194 号	特願 2016-212332	医療用流れ測定装置およびその製造方法	共願
25	2021.6.9	第 6400229 号	商願 2020-133548	心をつなぐ 知の拠点	単独
26	2021.7.6	第 6412193 号	商願 2020-133549	図形(金色)	単独
27	2021.7.15	第 6913938 号	特願 2017-109614	情報処理装置および情報処理方法	単独
28	2021.8.26	第 6934679 号	特願 2019-046801	ブロックチェーン取引作成プロトコル、及びブロックチェーンアドレス作成方法	単独

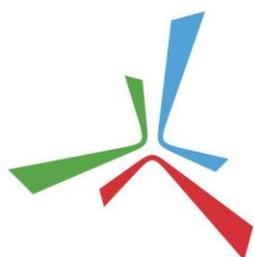
29	2021.10.29	CN109073590B (中国特許)	201780021302.9	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
30	2021.11.15	第 6978001 号	特願 2018-508026	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
31	2021.11.24	EP3438278 (英、独特許)	EP17775006.4	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
32	2021.12.6	第 6989127 号	特願 2018-076719	道路修繕順位決定システム	単独
33	2021.12.24	第 6999141 号	特願 2020-116274	生体情報収集システム及びセンサユニット	共願
34	2022.5.20	第 7076732 号	特願 2018-036434	アデノイド肥大判定装置、アデノイド肥大判定方法及びプログラム	共願
35	2022.6.7	第 7084576 号	特願 2018-088459	流れ測定装置	共願
36	2022.8.22	第 7127839 号	特願 2019-031119	予測調整型サスペンション制御システム	単独
37	2022.12.8	第 7190685 号	特願 2019-544509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット	共願
38	2022.12.28	第 7202638 号	特願 2019-026986	先端分離型マイクロニードル	単独
39	2023.1.23	第 7215678 号	特願 2019-030009	生体情報測定装置、生体情報測定方法及びプログラム	共願
40	2023.1.31	第 7219437 号	特願 2018-139191	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、秘匿演算変換プログラム、および記録媒体	単独
41	2023.5.17	第 7281039 号	特願 2018-235108	ホディーエリアネットワーク通信方式	単独
42	2023.8.22	第 6732272 号	商願 2023-017968	図形商標(1)	単独
43	2023.8.22	第 6732273 号	商願 2023-017969	図形商標(2)	単独
44	2023.8.22	第 6732274 号	商願 2023-017970	図形商標(3)	単独
45	2023.12.11	第 7401046 号	特願 2019-189092	脳機能計測装置及び脳機能計測方法	単独
46	2024.3.25	第 7460155 号	特願 2020-556169	脳機能計測装置及び脳機能計測方法	単独

(商標8件(全件単独)、特許38件(国内単独20、国内共願14、外国共願4))

本日は、「広島市立大学産学連携発表会2024
～デジタル技術×ひととまちが織りなす広島の未来～」へ
ご来場いただき、ありがとうございました。

今後の事業の参考とさせていただくため、
皆様のご意見をお聞かせください。

アンケートはこちらから👉



3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

地域共創センター

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東三丁目4番1号

TEL : 082-830-1545、082-830-1764 FAX : 082-830-1555

E-mail : ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp